

第147期 中間報告書

(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)

おかしくて、かなしい。これは、あなたの物語です。

山田洋次 監督50周年記念作品

東京家族

橋爪功 吉行和子 西村雅彦 夏川結衣 中嶋明子 林家正蔵 妻夫木聡 香汗優

小林健行 船越英二 宇高成美 栗田風一郎 丸山夢夢 花川54

監督 山田洋次

1月19日 ロードショー





松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第147期第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興関連需要、企業の設備投資、個人消費等、堅調な国内需要を背景に、緩やかな持ち直しの傾向が見られる一方、歴史的な円高水準の継続、欧州の財政問題や新興国経済停滞等、依然不透明な状況のまま推移しました。

映画業界は、昨年来の映画興行不振からの回復が未だ見られず、特に洋画は、30億円を超えた作品が3作品にとどまる等、興行収入の下落傾向に歯止めがかからない状況が続きました。邦画、アニメ作品の一部にはヒット作品が生まれましたが、業界全体としては、震災のあった昨年並の状況で推移しました。

演劇業界は、東急シアターオーブのオープン、名古屋・御園座の建て替えにともなうさよなら公演等の話題があったものの、ル テアトル銀座も来年の閉館を決定する等、演劇興行は厳しい環境が続きました。当社の携わる公演でも、企画によって売上や収益に大きな差が見られました。

不動産業界は、欧州の財政問題、急速な円高の進行等、不況の出口が見えない状況のまま、数多くの大規模ビル竣工によるオフィスフロア大量供給の、いわゆる2012年問題の年に入りました。不動産投資市場の低迷、地価の下落は底を打ったかに見えますが、オフィス賃料の下落、フリーレントの長期化、空室率の高止まり等、不動産業界の不況が続きました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高38,991百万円（前年同期比105.9%）、営業利益1,963百万円（同390.9%）、経常利益1,229百万円（前年同期は経常損失249百万円）、特別利益53百万円、特別損失107百万円を計上し、四半期純利益1,009百万円（前年同期は四半期純損失2,498百万円）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。



映像関連事業

【配給】邦画3本、洋画1本、アニメ3本、シネマ歌舞伎1本、METライブビューイング4本と、バラエティに富んだ作品を公開しました。春休みには「おかえり、はやぶさ」が厳しい結果となった一方、「ウルトラマンサーガ」は堅調に推移しました。ゴールデンウィーク公開作品「わが母の記」は評価も高く、上半期の収益に貢献しました。

この他に、ODS（非映画デジタルコンテンツ）として、「機動戦士ガンダムUC episode5」「宇宙戦艦ヤマト2199 第一章・第二章」を当社の連結子会社・(株)松竹マルチプレックスシアターズの劇場を中心に公開し、好成績を収めました。

【興行】(株)松竹マルチプレックスシアターズ運営の各劇場では、当社配給作品のほか、邦画では大ヒットコミックが原作の「テルマエ・ロマエ」、洋画では新シリーズの第1弾「アメイジング・スパイダーマン」等が好成績を収めました。

【テレビ制作】シリーズ企画「赤かぶ検事奮戦記4」「司法教官 穂高美子2」「天才刑事・野呂盆六Ⅶ」、水谷豊主演時代劇スペシャル「だましゑ歌麿2」、装いを新たにした北大路欣也主演「剣客商売」を受注制作しました。

【映像版權】<<DVD・ブルーレイディスク販売>>ライブラリー作品として前期から発売中の「男はつらいよ DVDマガジン」「パートワックス・鬼平犯科帳」は好調な売上を維持し、収益に貢献しました。<<権利販売等>>「釣りバカ日誌」シリーズ3作品、「男はつらいよ 寅次郎真実一路」が地上波のゴールデンタイムに放送され、またNHK BSでの放送向けに「カルメン故郷に帰る」デジタルリマスター版等を販売しました。配信許諾では、日本映画の各賞を受賞した



「わが母の記」
©2012「わが母の記」製作委員会

「八日目の蟬」の配信にて好成績を収めました。また、通常の配信モデル以外に、新旧の当社作品について、観賞している視聴者からリアルタイムに投稿を寄せていただく等、新しい視聴スタイルの提供も積極的に実施しました。この他、当社映画作品の映像を使用した、「ザ・プレミアムモルツ」（木下恵介監督『肖像』『お嬢さん乾杯』他6作品）、「伊右衛門」（小津安二郎監督『お茶漬の味』）、リチャード・ギアが寅さん風のキャラクターに扮した「オレンジーナ」の各CMについて権利許諾を行いました。

【CS放送】連結子会社の(株)衛星劇場では、「ホームドラマチャンネル」のスカパー！e2への拡大進出が本格稼働し、収益に貢献するとともに、「衛星劇場チャンネル」では、6・7月の二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露興行をいち早く取り上げたほか、多彩な番組編成で視聴者の好評を得ました。

演劇事業

【新橋演舞場】6・7月の2ヶ月にわたる二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露興行が大きな話題となり、高い収益をあげました。「八月花形歌舞伎」では「伊達の十役」が好評を博し、好成績を収めました。

【大阪松竹座】3年目となる「團菊祭五月大歌舞伎」、三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名披露を行った「七月大歌舞伎」、創立90周年を迎えるOSK日本歌劇団「レビュー春のおどり」を上演したほか、毎年夏・冬の関西ジャニーズjr.公演を春にも上演し、賑わいを呈しました。

【南座】坂東玉三郎主演の5月「ふるあめりかに袖はぬら



新橋演舞場平成24年6・7月
「ヤマトタケル」
©松竹株式会社

さじ]、6月「坂東玉三郎特別公演」と、並行して2ヶ月連続で開催した展覧会「歌舞伎ミュージアム『玉三郎“美”の世界展』」の組み合わせが話題を呼び、好成績を収めました。

【その他の松竹公演】「平成中村座」は5月末、盛況のうちに昨秋からのロングラン公演を終え、日生劇場で3年目となる「滝沢歌舞伎」も安定した収益をあげました。シアタークーンでは、クーン歌舞伎の新作「天日坊」の上演で話題を集め、また震災の影響で2年ぶりの実施となった7月の公文協東コース・中央コースが、各地で好評を博しました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】《シネマ歌舞伎》坂東玉三郎三部作の掉尾を飾る「高野聖」を上映し、好評を博しました。《METライブビューイング》2011-12シーズン後半の「ニーベルングの指環 神々の黄昏」「マノン」等4本を上映し、昨シーズンを上回る成績を収めました。

不動産事業

不動産賃貸は東劇ビル、新宿松竹会館、築地松竹ビル(ADK松竹スクエア)、大船の松竹ショッピングセンター、新木場倉庫、更に昨年秋ルミネがオープンした有楽町センタービル(有楽町マリオン)の稼働が順調に推移し、安定収入に貢献しました。一部ビルでは、賃料減額要求や移転告知に関する交渉が続いておりますが、各ビルとも効率的運営、経費削減に努めることにより、利益を確保しました。

その他の事業

《プログラム・キャラクター商品》「わが母の記」「シャーロック・ホームズ シャドウゲーム」「ダーク・シャドウ」等、邦画・洋画の大作・話題作での売上が好調に推移しました。また一連のアニメ作品については、キャラクター商品の売上也好調で、「宇宙戦艦ヤマト2199 第一章・第二章」「機動戦士ガンダムUC episode5」等が収益に大きく貢献しました。

《イベント事業》「わが心の歌舞伎座展」(東京)、「モンスター研究所」(大阪)等、盛夏を中心に展開したイベントにて成果を上げました。また「松竹歌舞伎屋本舗」との連動で行った物販イベント「歌舞伎屋本舗職人展2」や様々な洋画グッズを取り揃えた「銀幕本舗」を開催しました。

今後のわが国の経済は、復興需要等を背景に景気回復が期待されますが、欧州の財政問題を巡る不確実性が依然として高い中で、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。また電力供給の制約、デフレの影響等にも注意が必要な状況です。

当社グループは、企業価値を高め、幅広い世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。そのためには新たな取組みやさらなるコスト削減を実施するとともに、コンテンツの充実を図ることにより、利益の向上を目指します。また、社会から信頼される企業に向かって、コンプライアンス経営の強化に取り組み、企業価値のさらなる向上に鋭意努力して参ります。

さらに当社グループの中核事業である映像・演劇事業の予想と実績の乖離が大きいという特性を踏まえ、収益基盤の安定化を図るよう、事業を展開して参ります。

《映像関連事業》映画製作・配給につきましては、邦画では9月公開「天地明察」、11月公開「黄金を抱いて翔べ」、12月公開「大奥～永遠～[右衛門佐・綱吉編]」、1月公開、小津安二郎監督の「東京物語」にオマージュを捧げる山田洋次監督「東京家族」、洋画では「エクスペンダブルズ2」等、ラインナップに大作・期待作を揃えております。

映画興行につきましては、(株)松竹マルチプレックスシアターズの各劇場にて、「踊る大捜査線 THE FINAL 新たな希望」、「大奥～永遠～[右衛門佐・綱吉編]」、「東京家族」



「黄金を抱いて翔べ」
©2012「黄金を抱いて翔べ」製作委員会

等の公開が予定されております。また、デジタル映写設備の導入に対応した効率的な劇場オペレーションを推進し、より一層映画興行を強化して参ります。

《演劇事業》来年4月2日新開場の歌舞伎座の広報・営業活動が本格的に始動します。柿蒼落し公演の成功に向けて万全を期して参ります。新橋演舞場は、観客のニーズに合った公演形態を追求し、引き続き歌舞伎座休館中の歌舞伎のメイン劇場としての役割を果たして参ります。また日生劇場での松たか子主演「ジェーン・エア」、坂東玉三郎演出・主演「日本橋」、浅草公会堂での恒例の新春浅草歌舞伎や三越劇場での木下恵介生誕百年記念「お嬢さん乾杯」等、バラエティに富んだ公演を提供し、歌舞伎座休館中最後の期を盛り上げて参ります。関西では南座「吉例顔見世興行」での六代目中村勘九郎、大阪松竹座での四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露が大きな目玉となります。シネマ歌舞伎は今秋「籠釣瓶花街酔醒」を上映します。「スクリーンで観る高座 シネマ落語」では「映画 立川談志」を公開、METライブビューイングは「愛の妙案」「リゴレット」等12本を公開します。また待望の歌舞伎座さよなら公演記念ドキュメンタリー「わが心の歌舞伎座」ブルーレイディスク/DVDをいよいよ今秋発売します。

《不動産事業》オフィス賃料の下落、商業店舗業績悪化による出店意欲減退等の逆境の中、各テナントとの厳しい交渉がなおも続くこととなりますが、業界の動向に関わる広範かつ的確な情報入手に一層注力し、テナント戦略を創意工夫す



「エクスペンダブルズ2」
©2012 Barney's Christmas, Inc. All Rights Reserved.



南座平成24年12月
「中村勘太郎改め六代目中村勘九郎襲名披露
當る巳歳 吉例顔見世興行」
©篠山紀信

ること対処して参ります。さらに、歌舞伎座の建替え計画につきましては、平成25年春竣工に向けて建設工事も大詰めを迎えております。新しい劇場を、歌舞伎の次代への継承・発展、そして新たな日本の文化発信の拠点とするべく、工事監理を行っております。

併設するオフィスフロアにつきましては、優れた立地、耐震性能や建物スペック等多くの魅力溢れるセールスポイントを活かしたテナントの誘致活動に努めて参ります。

《その他の事業》「大奥～永遠～[右衛門佐・綱吉編]」「バイオハザードV」等の大作のプログラム・キャラクター商品を予定しております。またアニメ作品「劇場版 TIGER & BUNNY」「ねらわれた学園」公開に向け、コア層の購買意欲を強く喚起するプログラム、キャラクター商品の提供に努めて参ります。イベント・催事事業では、年末から2月にかけて、新たな「歌舞伎座展」や各種歌舞伎関連のイベントの準備を進めております。歌舞伎座新開場を見据えて展開してきた歌舞伎座関連の各種イベントで培ったノウハウを糧に、来期以降も引き続き様々なプロジェクトを新規開拓して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



GINZA KABUKIZA
完成予想図(晴海通り側)
©松竹株式会社、株式会社歌舞伎座

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成24年8月31日現在	前期末 平成24年2月29日現在
資産の部		
流動資産	31,623	30,487
固定資産	142,026	141,424
有形固定資産	104,627	103,368
無形固定資産	1,854	1,701
投資その他の資産	35,544	36,353
繰延資産	12	22
資産合計	173,662	171,934
負債の部		
流動負債	57,813	29,677
固定負債	51,630	77,969
負債合計	109,443	107,647
純資産の部		
株主資本	64,144	63,563
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,066	30,066
利益剰余金	2,338	1,749
自己株式	△ 1,278	△ 1,270
その他の包括利益累計額	18	651
その他有価証券評価差額金	18	651
少数株主持分	55	71
純資産合計	64,218	64,286
負債・純資産合計	173,662	171,934

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	前第2四半期累計期間 自平成23年3月1日 至平成23年8月31日
売上高	38,991	36,827
売上原価	22,508	21,625
売上総利益	16,482	15,202
販売費及び一般管理費	14,518	14,699
営業利益	1,963	502
営業外収益	239	295
営業外費用	973	1,046
経常利益又は経常損失(△)	1,229	△ 249
特別利益	53	103
特別損失	107	3,055
税金等調整前 四半期純利益又は純損失(△)	1,175	△ 3,200
法人税、住民税及び事業税	114	118
法人税等調整額	67	△ 793
法人税等合計	181	△ 674
少数株主損益調整前 四半期純利益又は純損失(△)	993	△ 2,525
少数株主損失(△)	△ 15	△ 27
四半期純利益又は純損失(△)	1,009	△ 2,498

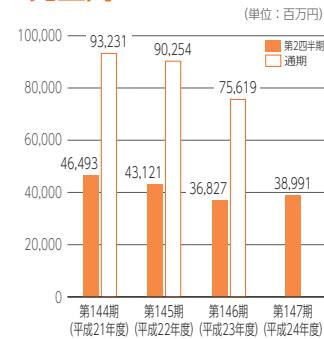
■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

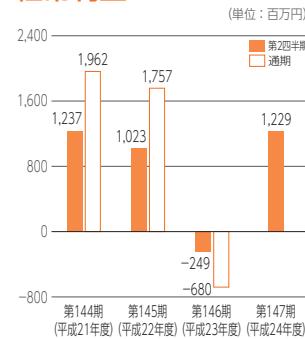
科目	当第2四半期累計期間 自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	前第2四半期累計期間 自平成23年3月1日 至平成23年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,057	△ 200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,061	△ 7,679
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,280	4,214
現金及び現金同等物の増減額	2,276	△ 3,664
現金及び現金同等物の期首残高	11,519	15,989
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 39
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,796	12,286

連結決算ハイライト

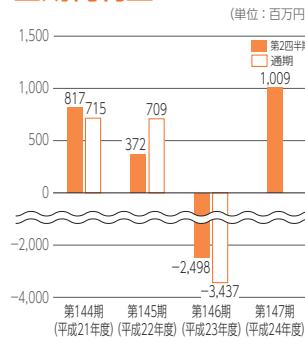
売上高



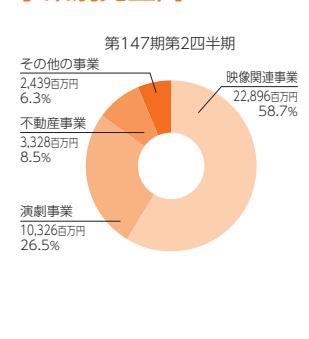
経常利益



当期純利益



事業別売上高



『大奥～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇]』

堺雅人 菅野美穂
尾野真千子 柄本佑 田中聖 要潤
宮藤官九郎 西田敏行 ほか

監督:金子文紀
原作:よしながふみ「大奥」(白泉社「MELODY」連載)
脚本:神山由美子
音楽:村松崇継
主題歌:「Back In Love Again (feat.布袋寅泰)」MISIA (アリオラジャパン)



『東京家族』

橋爪功 吉行和子
西村雅彦 夏川結衣 中嶋朋子 林家正蔵
妻夫木聡 蒼井優

監督:山田洋次
脚本:山田洋次・平松恵美子
音楽:久石譲

新作映画情報

この作品は、男女が逆転した大奥を舞台にしたよしながふみのコミックを原作に、2010年にヒットした前作の続編として位置づけられる作品です。

ひとりの女将軍に3000人の美しい男たちが仕える女人禁制の男女逆転大奥の続編としてこの壮大な物語を映像化するために、前作から時代を一気に遡り、男女逆転大奥の誕生秘話を描いた『大奥～誕生～ [有功・家光篇]』を連続テレビドラマで10月12日よりTBS系列で放送。そして、ドラマファンを引き継ぎながら、徳川最盛期、元禄の世に生まれた宿命の愛を描いた『大奥～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇]』を劇場用映画で全国公開、と二段構えで描く一大プロジェクトです。

汚れなき心で将軍を支えるドラマ版の主演、院主・有功。そして胸に野望を秘めた映画版の主演、右衛門佐を、「有功と右衛門佐が瓜二つ」という設定を活かし、一人二役で堺雅人が演じます。

そして、それぞれと愛のドラマをみせる女将軍をドラマ版では、3代将軍・家光として多部未華子、その30年後を描いた映画版では、5代将軍・綱吉として菅野美穂が演じます。

2012年12月22日(土) 全国公開です。

映画監督生活50周年を迎えた山田洋次監督が、小津安二郎監督『東京物語』にオマージュをささげ、舞台を現代に移して描く家族の物語です。

本作は、本来であれば映画監督生活50周年の2011年春に製作を開始し、今年のお正月第2弾公開作品となるはずでした。しかし、東日本大震災の発生を受けて、撮影が約1年延期されました。

成長した子どもたちに会うため、瀬戸内海の小島から上京した老夫婦と子どもたちの姿を通じ、家族のきずなと喪失、夫婦や親子、老いや死についての問いかけを「震災後の日本人の気持ちのありよう」を織り交ぜながら、家族の在り方を丁寧に描いていきます。

主演の老夫婦役を橋爪功、吉行和子、その長男夫婦を西村雅彦、夏川結衣、長女夫婦を中嶋朋子、林家正蔵、次男とその婚約者を妻夫木聡、蒼井優が演じ、音楽は数々の映画作品の音楽を担当してきた久石譲が担当、これ以上ない豪華な布陣となりました。

山田監督が描き出す震災を経た東京の家族の物語を、このキャスト陣、久石譲の音楽がどのように彩るのか、ぜひご期待ください。

2013年1月19日(土) 全国公開です。

襲名に沸く新橋演舞場



©松竹株式会社

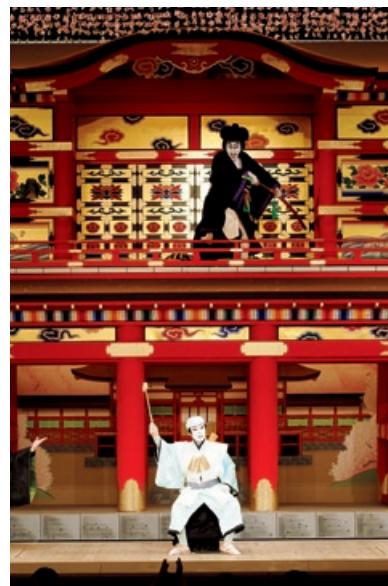
歌舞伎座建替え期間中（平成25年春竣工予定）、歌舞伎公演の主要劇場となっている新橋演舞場では、2ヶ月間にわたる澤瀉屋おもだかやの襲名披露公演、「六月大歌舞伎」、「七月大歌舞伎」が行われました。この度の襲名披露公演で市川猿之助が二代目市川猿翁を、市川亀治郎が四代目市川猿之助を、そして香川照之が九代目市川中車を襲名し、香川照之の長男政明が五代目市川團子として初舞台を踏みました。公演に先立ち、渋谷と浅草にてお練りが行われ、お客様からの熱い声援が一門に送られ、公演へのお客様の注目度と期待の高さが伺えました。同じ月の公演に古典とスー

パー歌舞伎が上演されるという史上初の試みもあり、スーパー歌舞伎『ヤマトタケル』は2ヶ月のロングラン公演。劇中にて猿之助と中車による襲名披露口上も行われました。「六月大歌舞伎」には、坂田藤十郎、片岡秀太郎が、「七月大歌舞伎」には市川團十郎、市川海老蔵が出演し豪華な舞台となりました。襲名披露公演ならではの熱気と雰囲気にも包まれる中、8年振りとなる猿翁の舞台復帰も大きな話題となり、盛り上がりは最高潮に達しました。

市川亀治郎改め四代目市川猿之助襲名披露公演は、平成25年1月大阪松竹座と続き、全国各地で行われる予定です。



©松竹株式会社



©松竹株式会社

新・歌舞伎座「GINZA KABUKIZA」

来年4月2日の新開場に向け歌舞伎座は工事の大詰めに入っております。新しい歌舞伎座は、従前より特徴的だった桃山建築の外観デザインを継承することにこだわりつつ、バリアフリーや耐震設計に配慮した最新機能を備えて生まれ変わります。

劇場部分では客席寸法の改善、舞台機構の更新、トイレの増設などお客様にやさしい空間づくりを目指します。また、建物としては地下鉄東銀座駅へ直結する地下通路の新設、緑化の整備、環境負荷低減への取組み、公共駐車場の新設など豊かな都市空間の創出を図ります。また、災害時には地下広場や劇場空間を利用し、帰宅困難者の一時避難スペースとして活用できるよう計画しております。

松竹グループでは、歌舞伎の殿堂「歌舞伎座」を再生するだけに留まらず、文化施設やオフィスビルを併設し、人が集まり文化が交流する新たなランドマークとなるよう複合的に魅力を形成していきたいと考えております。



©松竹株式会社





会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 533名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1533 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長	大谷 信義
代表取締役社長	迫本 淳一
専務取締役	安孫子 正人
専務取締役	細田 光厚
常務取締役	中島 雅人
常務取締役	武中 清文
取締役相談役	上條 良樹
取締役	井手 正也
取締役	大角 哲也
取締役	岡崎 哲也
取締役	秋元 一孝
常勤監査役	岡田 敏明
監査役	中川 弘晴
監査役	鈴木 茂
監査役	牛島 信

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・(株)松竹サービスネットワーク: 映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
 - ・松竹関西サービス (株): 不動産管理・清掃
 - ・(株)ショウビズスタジオ: 舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
 - ・中映 (株): 浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
 - ・松竹芸能 (株): タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
 - ・(株)衛星劇場: CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
 - ・(株)松竹撮影所: 劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
 - ・(株)松竹映像センター: 映像制作、編集およびDVDオーサリング
 - ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ: 複合映画館 (シネマコンプレックス) の開発・運営
 - ・松竹音楽出版 (株): 映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
 - ・歌舞伎座舞台 (株): 演劇舞台の大道具製作・販売
 - ・(株)関西美術: 演劇舞台の小道具製作・賃貸
 - ・日本演劇衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
 - ・(株)松竹エンタテインメント: 俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
 - ・匿名組合築地ビルキャピタル: ADK松竹スクエアの賃貸借および管理
 - ・KSビルキャピタル特定目的会社: 資産流動化法に基づく特定資産 (歌舞伎座建替え計画におけるオフィス部分) の開発・賃貸借・管理に係る業務
- ### 持分法適用会社
- ・(株)サンシャイン劇場: サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
 - ・(株)イヤホンガイド: 演劇劇場内イヤホンガイドサービス
 - ・(株)歌舞伎座: 歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
 - ・新橋演舞場 (株): 新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
 - ・インターローカルメディア(株): 放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業

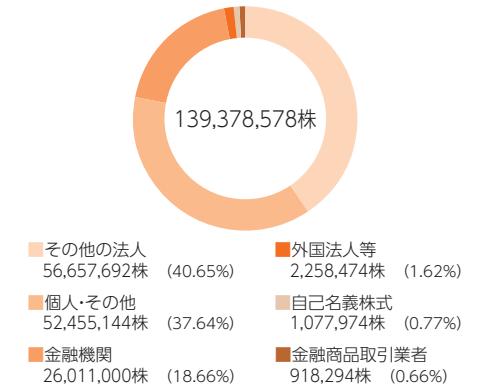
株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,077,974株を含んでおります。)
 株主数 18,164名 (前事業年度末比1,442名減)
 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500	3.25
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344	3.14
セコム株式会社	3,700	2.68
三井物産株式会社	3,700	2.68
清水建設株式会社	3,690	2.67
株式会社大林組	3,600	2.60
西松建設株式会社	3,288	2.38
大成建設株式会社	3,104	2.24
株式会社TBSテレビ	2,542	1.84

(注)持株比率は自己株式(1,077,974株)を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)
1,000株以上	80ポイント (40ポイント)
2,000株以上	160ポイント (60ポイント)
3,000株以上	200ポイント (80ポイント)
5,000株以上	280ポイント (100ポイント)
8,000株以上	400ポイント (120ポイント)
10,000株以上	480ポイント (140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。
 そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
 ※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。
 新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」「プラチナルーム」はご利用になれません。
 ※3D映画は、1名様につき15ポイント(通常10ポイントの1.5倍)で、ご観賞可能となります(「新宿ピカデリー」のみ30ポイント)。

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日

期末配当 2月末日

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株

公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない

場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●1単元（1,000株）未満の株式をお持ちの株主様へ【買増・買取制度のご案内】

当社株式の証券市場での取引は1単元＝1,000株となっているため、単元未満株式を市場で売買することはできません。このため、当社では、1単元（1,000株）に不足する株式を買い増して、1,000株にまとめることができる「単元未満株式の買増制度」、1,000株に満たない株式を当社へ売却することができる「単元未満株式の買取制度」をご用意しております。

お手続きの方法

①当社株式を証券会社等の口座をお持ちの株主様

お取引の証券会社等へお問い合わせください。

②上記以外、特別口座をお持ちの株主様

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) へお問い合わせください。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。

お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。